



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
 TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2020年8月会報 第380号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Jacob Kristensen(デンマーク)

主 題 「価値観、リーダーシップ、エクステンション」 「VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP

スローガン 「命の川を信じよう」

アジア太平洋地域会長(AP) David Lua (シンガポール)

主 題 「変化をもたらそう」 Make a difference

スローガン 「奮い立たせよう」

西日本区理事(RD) 古田裕和(京都トウビー)

主 題 Let's do it now!

スローガン “2022 に向け誇りを持って All is well.”

六甲部長 安行英文(さんだ)

主 題 行動に信念を、信念は行動に Believe in what you do. Do what you believe in.

宝塚クラブ会長

主 題 ポジティブに考え、ポジティブに生きる Think and live, positive.

今月のテーマ: Youth Activities

「積極的な理解と、ワイズメンズクラブ

こそその支援を」

Yサ・ユース事業主任 益國 隆人 (広島)

日 時 : 2020年8月12日(水)18:30
 場 所 : 宝塚市立西公民館
 会 費 : 1000円
 ドライバー 多胡葉子 鯖尻佳子
 会 食

《 例 会 》 (19時より)
 開会点鐘 若林成幸会長
 ワイズソング 全 員
 聖書朗読 福家清美
 祈 禱 青柳美知子
 ゲスト・ビジター紹介 若林成幸会長
 お話し
 「YMCA とワイズ〜ウエルネス〜」
 柳 敏晴 氏 (神戸西クラブ)

YMCA 報告
 誕生日のお祝い クラブ会長
 ニコニコファンド
 閉会点鐘 若林成幸会長

2020~2021 役員	会長 若林 成幸 直前会長 多胡 葉子 副会長 福田 宏子 書記 武田 寿子 会計 小林 康男 堀江 裕一 会計監査 加藤 光信 吉田 明 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子 今田 和子 六甲部地域奉仕・環境 多胡 葉子
誕生日	多胡葉子(2日) 福家清美(28日) 若林弘子(28日)
7 月 実 績	例会出席者数 28名 在籍会員数 21名 出席会員数 18名 出席率 85.0% メイクアップ(内数) 0名 メネット 3名 コメント・孫ネット 0名、 ゲスト・ビジター 7名 例会充足率 133%
	にこにこBOX 7月 8,500円 累 計 8,500円 ファンド(物品販売) 0円 累 計 0円

聖句

「神は、おくびょうの霊ではなく、
力と愛と思慮分別の霊をわたしたちにくださったのです。」
(テモテへの手紙(二) 1:7)

随想

コロナ禍はまだまだ続きそうな状況ですが、感染症にはいつもついてまわる差別・偏見の問題も終わらないでしょう。それをひき起すのは恐怖であり、恐怖を克服しなければこれを無くすことはなかなかできない。4月号では、そのためには科学的態度が必要だなどと聖書の言葉と直接関係ないこと述べながら、「聖書には科学的知識を持つとは書いてありません」などと書いたのですが、実は関係ありそうな言葉を見つけたので、ご紹介します。

上の聖句で「おくびょう」に対立するものとしてあげられている「思慮分別」という言葉は、他に「自制、真面目」などという訳もあり、形容詞形では、「理性のある、正気の、思慮深い、分別のある」とあります。理に適った思慮深い判断ができることを指しているのです、これは今日の言葉に意識するなら、「理性」とも言える。また理性であれば、当然今日でいう科学的な態度も含んでいると言ってもいいのではないのでしょうか。

これも4月号に書きましたが、以前国立ハンセン病療養所「菊池恵楓園」の入所者で牧師の太田國男先生という方から、差別や偏見を克服するためには、愛だけでなく、科学的知識が不可欠で、それによって鍛えられなければならない、と教えられました。

先生は、良いたとえかどうかわかりませんが、「尿瓶」のたとえを出されました。それで水を飲めと言われたら、どうか。本当に未使用かどうか確かめ、確認できたら飲めるかも知れないが、そうでなければ難しい。つまり、細菌もなく完全に清潔な状態である、という「科学的」な確認がない限り、人はどうしてもそれを、何となく不潔なものに感じてしまう、というのです。これと同じことが病気をめぐって起こるから、患者を何か不潔な存在であるかのように見る差別や偏見を生み出すのだ、と。

これに対して、たとえ尿瓶の水でも清潔なものなら、恐れず平気で飲めるようになるためには、科学的に鍛えられた精神が不可欠になる、というのです。それはハンセン病に限らずあらゆる感染症の歴史を見ても明らかで、本当の意味で患者への偏見を克服して、きちんとした人権意識に基づく医療が生まれるためには、やはり病原発見と病理解明という科学的知識が不可欠でした。無知による「おくびょう」は差別を生み出すだけだが、科学的にしっかり鍛えられた精神によってこそ、差別・偏見は克服されうる。先生の教えをまとめて言い換えると、人間にたいして、とくに病を負う人にたいして「科学的に鍛えられた愛をもつ」ということになると思います。

コロナ禍の中に生きるみんなが心に刻むべきことでしょう。

金田俊郎

会長随想

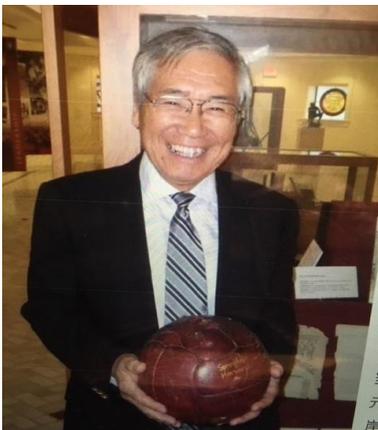
コロナ禍、世界は「社会経済と感染防止の両立」という前提で活動が再開しはじめたばかりなのに、首都圏での感染再燃が各地に飛び火し、このウイルスの特異性に改めて恐怖を感じている。我がクラブも7月から活動を再開したが、この先どんな展開になるやら一喜一憂の日々が続きそうだ。

ところで我々は、市民クリスマスのベガホール開催を中止を決定、ホール予約金 49700 円の返還手続きを済ませた矢先、宝塚市 HP には「文化芸術活動再開支援事業補助金」が掲載された。説明によると「新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、舞台芸術や展覧会等の文化活動を自粛・縮小せざるを得ない状況に置かれた団体に対し、宝塚市内での公演・展覧会実施に係わる施設使用料の1/2（上限 10 万円）を補助することで、市内の文化芸術の振興を図る」と記されている。まったく皮肉なもんですね。一方で感染予防のため中止に追い込まれたのに、他方で助成金まで準備したのだから励みなさい、という。

そこで、折角作って下さった制度を活用できる材料があるだろうか、と考えてみた。でもこの制度、おいしいようだが現実的で無いことに気付いた。詳細を見ると、「助成対象経費は、会場となる施設の使用料」とあり、ホール代・控室のこと。音楽会を開催するには、ホール代とは別に舞台費・音響費・照明費などの附帯設備使用料とそれに携わる人件費が掛かってくる。また、ピアノ使用料やピアノ調律費を含めるとホール代の外に 10～15 万円の経費がかかる。なのに、これらの経費は補助金の算定対象にならないのだ。プロ演奏家のように〇千円の入場料をとって集客できる方にとって応援資金になっても、アマチュア団体にとっての物足りなさは拭えない。音楽の街・宝塚らしい、コロナで喘ぐ市民に向けての助け船という発想なら、現場目線に立ち市民の声を反映して欲しかった、と口走っている。

若林成幸

柳 敏晴さん プロフィール



1947 年兵庫県生まれ。神戸 YMCA に 22 年間奉職、その後鹿屋体育大学、名桜大学 を経て、現在神戸常盤大学教授(教育イノベーション機構長)。福岡 YMCA においてはウエルネス事業委員長を長年務め、キャンプ企画、スタッフ・リーダートレーニングに関わった。

7月第1例会報告

7月8日(水) 18時30分7月第1例会が宝塚市西公民館で、若林会長の「ポジティブに考え、ポジティブに生きる」今期のテーマのもと、7名のゲスト、Zoom ゲスト5名を迎え新しいスタイルでの例会が開催された。役員引継ぎ式、安行英文六甲部部長、郡家学ワイズの入会式は六甲部水野雄二 EMC 主査によって行われました。



安行英文六甲部部長公式訪問挨拶、



会長方針、各委員長の活動計画や予算審議が、長尾ワイズの進行のもと和やかに行われた。神戸 YMCA 支援のポジティブネット献金は会員の協力とクラブ会計から拠出を合わせ60万円献金することができた。

若林会長は、今期はコロナ禍で様々な制約はあるが、変化を受け入れ勉強する絶好のチャンスととらえ、新しいワイズ・ライフづくりを目指し、次世代につなぐべき価値の学びと交流を進め、SDGsをテーマに、超高齢化社会の日本社会をどのように生きるかの学びの時にしたいと決意を述べた。大野勉次期アジア・太平洋地区会長、大野智恵次期六甲部部長ご夫妻、安行英文六甲部部長、松本美耶子六甲

部書記、水野雄二六甲部 EMC 主任、元メンバーの犬井晃、藤井良三氏お二人、若林、小林、郡家メネットを迎え、さらに ZOOM で、松永英明九州部部長、中堀清哲西日本区国際・交流主任や DBC の鹿児島クラブの園屋高志氏、中井信一阪和部部長や、竹園憲二西日本区 EMC 事業主任、杉谷ワイズが参加してくださり、広がりのあるキックオフ例会になった。

武田寿子

7月第2例会報告

日時:7月15日(水)18時30分-20時

場所:宝塚市立西公民館パーテールーム

出席者:青柳、石田、今田、小林、武田、多胡、長尾、福田宏、福家、吉田、若林、郡家、谷川

議案

1. 今後の例会運営について検討され以下のように決まった。

従来、8月は納涼例会としていたが、コロナ対応のため通常例会にし、Zoom参加も可能にする。

食事:西公民館レストランの弁当を頼む。価格800円 会費=1,000円、6時30分開会、食事を先にし、そのあと19:00よりプログラムを進める、Zoom参加者が食事の間待たなくてもよい。

郡家ワイズの自己紹介をプログラムに入れる。

8月の卓話(4月例会で予定)神戸西クラブ 柳敏晴氏、謝礼10,000円

「YMCAとワイズ〜ウエルネスから〜」

9月(候補)株式会社宝塚すみれ発電代表取締役 井上保子氏(子ども弁当事務局)

「再生可能エネルギーによる市民発電事業」多胡ワイズから依る。

10月以降の予定 関西学院教育学部 湊 秋作教授

第1回「SDGs概論」、第2回「学生たちのSDGs活動、

第3回「SDGsの具体例 ヤマネとアニマルパスウェイ」

第4回「市民生活とSDGsとこれから」

2. 新型コロナ基金について

送金額…区費減免相当分15万円を上限とするが、コロナ対策クラブ活性化資金交付申請については申請せず、コロナ対策必要経費(Zoom活用費用など)を差し引き寄付する。

3. Zoom利用例会の円滑な運営のために

スクリーンは80型を13,900円で購入、Zoomを年額で購入し、長尾、若林が共同ホストとし、登録する。年額費を確認する。

4. 市民クリスマス代替案の検討

田中良和氏から昨年の方式から何か発展的な転換をというメールがあり、Zoomなど利用し新しい形での開催を模索するために、8月前半に実行委員会を開催する。大野勉さんにも声をかけ協力を依頼。

5. ブリテン8月号について長尾ワイズから説明があり、各自に原稿を依頼。

データ:メン18,メネット3,ゲスト7 計28名

7月実績のBFポイントの記載は今後必要なし。

6. その他、吉田ワイズより、ジャガイモ購入の準備に購入先に連絡し情報を得る必要がある、長尾ワイズに依頼。

谷川連絡主事より、神戸 YMCA への基金400万への協力感謝と、神戸 YMCA が今まで支援してきた地域や障害者のプログラム継続のためのプログラムへの支援のポジティブ 献金への今後への協力があつた。バザーや、チャリティーランも形を変え実施したいと考えているので支援をとの依頼があつた。はんしん自立の家 9月16日4時から秋元孝介氏によるピアノコンサート、小規模とする予定。

次回 綿の種取予定日 7月30日2-4時

書 記 武田寿子

はんしん自立の家の綿の種取

6月30日、障がい者支援施設である「はんしん自立の家」で綿花の種取りと菜種の選別のお手伝い。綿花の種取りは慣れたものですが、初めての作業である菜種の選別は、胡麻粒ほどの大きさの菜種を、芽が出ているものを選び分けて、ゴミを取り除くという細かくて集中力の必要な作業でした。

しかし、マスクはキツイですね。汗だらだらですが、みんなしっかりマスクをしながら、入居者の方のピアノの演奏を BGM に楽しく作業させて頂きました



8月。例年でしたら、YMCAは余島を筆頭に、海や山、夏ならではのアクティビティ真っ盛りを迎えています。今年は何かするにも何もしないにも、「勇気」が試されます。

欧米諸国から遅れてではありますが、日本でも教育の価値についての研究が進む中で、知識や技量を上げるような教育よりも、特に乳幼児期の子どもには、人とかかわりや様々な体験を通して、忍耐力や社会性、感情のコントロールなどの「非認知能力」を高めることが、生涯を通じての生きる力を養うことにつながることを、明らかになり、学校教育でも

求められてくるようになりました。ただ教育要領に基づいた、教室内での学びでは、そうした非定型の学びを得ることが難しいこともあり、YMCAが100年間培ってきた「キャンプ」の重要性が改めて注目されています。

1920年8月7日から2週間、兵庫県西宮市の北側にある南郷山の松林でYMCAが簡易天幕を張って、75人が参加したのが、日本における教育的キャンプの始まりであると伝えられています。本当であれば、日本キャンプ100周年と改めてキャンプの教育的意義を確認するイベントをYMCAをはじめ関西のキャンプ団体で行っていく予定でしたが、コロナ禍の影響でほぼ中止となってしまいました。

ただ、キャンプの教育的意義が最新の研究でも明らかになったことを受け、私たちは胸を張って、こうした状況下でもできることを模索しています。余島キャンプ場のゲートには「明日の指導者は今日つくられる」という言葉が掲げられています。よりよい未来を創るために、今の青少年たちに豊かな経験ができるよう、まさに今「知恵」を絞っています。例年のようにYMCAの活動紹介をすることすら、ままになりませんがぜひ皆さんと一緒に豊かな未来を創れるよう、これからもご支援ください。

日本YMCA同盟のHPには「YMCAキャンプ100年特設サイト」を設けています。

(<https://www.ymcajapan.org/campaign/camp100th/>)

8月ゲストスピーカーの柳敏晴さんも、第6回目に「[メッセージを發し続けることが明日の指導者を育てる](#)」と題して寄稿いただいています。ぜひ例会までにお読みください。

(宝塚クラブ銀行口座)

銀行名 三菱UFJ銀行宝塚中山支店
 口座番号 普通預金 4585836
 口座名 宝塚ワイズメンズクラブ
 (会計 小林康男)

2020-2021 宝塚ワイズメンズクラブ 事業・特別事業

事業委員		委員長		
	Yサ・ユース	福田 宏子	武田 寿子	
	地域・環境	多胡 葉子	風早 寿郎	青柳美知子
	EMC	鯖尻 佳子	若林 成幸	
	広報・プリテン	長尾 亘	福家 清美	重松 えみり
	交流・ファンド	石田由美子	杉谷 和代	
特別		委員長		
事業委員	NGO連絡協議会	鯖尻 佳子	福家 清美	堀江 裕一
	じゃがいも	小林 康男	吉田 明	風早寿郎
	市民クリスマス	多胡 葉子	長尾 亘	石田由美子
	〃		若林 成幸	